

<p>・はるかさんが「ウミガメのように産んで埋める」と言ったことに対してじゅんこさんが「マジうける」と言ったシーン。つくりすぎた感がなく自然でよかった。・両親が話を聴かないシーン、はるかさんのイライラ感伝わってきました。・性教育の現場で流すのに（学校の）ちょうどいい長さだと思いました。中・高でぜひ！・本当の親を知らない子たちの葛藤などを描いてほしい</p>
<p>”若年での妊娠”という現状として起こっている事例を、ドラマを通して見ることでよりわかりやすく知ることができた。</p>
<p>「親子」「自分自身・お腹の子」「お腹の子の今と未来」という視点がよかった。女性側の視点のみの映画だったが、希望と安心を感じるものだった。</p>
<p>「望まぬ妊娠」をしたという現実が良く伝わってきたから。女性の嘆きに心が痛む。観ていて辛かった。男性へのヘイトが溜まる。</p>
<p>『望まない妊娠』について考えさせられた。</p>
<p>10代で妊娠する女子の感情が短い映画の中でうまく描けていて良く伝わってきた。特別養子縁組をすると決めるまでがもっと深く語られたらみてみたいと思いました</p>
<p>10代の女の子が妊娠して、それでも命をつないでくれるところがあるってことをもっと他の人にも知ってほしい。</p>
<p>10代の女性が妊娠してしまった時に抱える問題を30分という短い時間で表現されているからです。問題がよくわかりました。</p>
<p>10代の妊娠、出産と社会的養護をつなげての発信はあまりないと思われるので、広がればいいと感じました。</p>
<p>10代の妊娠は公にできない風潮で、孤独な中で悩んでいる人がたくさんいると思います。悩んでいる人にいろんな選択肢があること、総d何位乗ってくれる人が必ずいることを知る機会がありますように。</p>
<p>①遥と潤子の関係性に焦点があたっていた点がよかったです。映画の密度が高まっていました。一方で、親や先生など、ほかの関係者のストーリーも描かれたらなと思いました。②音がよかったです。本編はBGMなしでセリフをひびかせ、それをはじめと終わりの言葉ではさんでいた点がよかったです。</p>
<p>30分という時間制限の枠では難しいと思うが、産むことを拒否していた女の子の気持ちの変化が急な感じがした。静かに丁寧な潤子さんの演技と前半の少女の演技が光っていた。</p>
<p>30分だからいいところもあるが、やっぱりもう少しあってほしいシーンもあった。2時間版のはどう言うものかぜひ見てみたいと思いました。映画という方法は見る人によって伝わるメッセージがそれぞれだったり背景なども想像するものが違うのが面白いと思いました。</p>
<p>30分でおさめられていたが、やはり長編の方が伝えたいメッセージがより強くなるのかなと思った</p>
<p>30分でテーマがぎょう縮されていて、よくまとまっていたと思う。しかしちょっと短すぎて、女の子の心の葛藤や、どうやって結論に至っていったかなどもう少し掘り下げた描写も観たかった。</p>
<p>30分でよくまとまっていたよい映画だと思いました。主演の女子高生の心情にいろいろ考えさせられるものがあり、単なる啓発だけにとどまらない作品でいろいろな方に見てもらえたらいいなと思います。</p>
<p>30分で上手くまとめられていた。私は子どもがいませんが、いまだ、かなり待っていますが子どもが来ません。この映画を小中学生に見せ、知ってもらいたい。望まぬ妊娠にたとえあってしまったとしても方法が選択肢があることを知ってほしい。また、子どもは若いうちでないとできにくいことも。</p>
<p>30分という短い映画でしたがとてもメッセージ性の強いもので感動しました。</p>

<p>30分という短い時間だったけど、特別養子縁組について知ることができたし、出産にいたるための経緯を知ることができたため。</p>
<p>30分という短い時間なのに、いろいろな思いのあるとてもこい内容の作品だったから。</p>
<p>30分という短い時間の中で、様々な問題提起がもりこまれていて、すごくよかった。長編バージョンをぜひ作ってほしい。</p>
<p>30分という短い時間の中で限られた情報ではありますが見る人の想像や思いを巡らせることができる映画だと感じました。</p>
<p>30分という中で深く考えさせられる、議論の余地のある面白い作品だった。相手の親・学校の対応が劣悪だった中で、じゅんこさんという里子で幸せにくらせたというあまりにもベストすぎる支えで遥の考えが改められたのがよかった。一方で「方法は一つ」というような言い方で里親里子のシステムのプロモーションみたいな一面もあった。ほかにも選択肢がある社会になるべきだけど、今現在でもなきにしもあらずなのかなと思う。</p>
<p>30分という長さが良かった。説明を加えない。答、正解を問わない。いろいろ想像するという深まりのある映像として完成されてると思います。30分で話し合う映画になると思いました。話し合う資料つきで広めてはどうでしょうか。長編はスピノフとしてそれはそれとして観てみたいと思います。</p>
<p>30分とはとても思えない充実したものでした。</p>
<p>30分とは思えぬ充実した内容でした。生まれた子が養親に出会ったのであればそのストーリーもあつたらよかったなと思います。そこで幸せに暮らしている姿があれば、より養親になろうとする夫婦に勇気を与えると思うので</p>
<p>30分の時間制限がある中での映画としましたらよくまとめて作られていたと思います。ただもう少し主人公の心の動きが観ている方へ伝えられることもっと理解できる方が増えるのでは？問題提起としてはとても良かったと思います。答えはこの本にあるのかも……。早く読みたいです、</p>
<p>30分の短編だからむずかしかったでしょうがあまりにも直球すぎた。ユーモアがほしかった。相手の男子高校生はどうなの？ということも気になった。</p>
<p>30分の短編の中で、かなりいろいろなテーマ（社会問題の切り口）が凝縮されていました。脚本、ストーリーが練られていると思いました。</p>
<p>30分の中でどういったことで10代の女性が子どもと向きあうのか、よく描かれていると思った。ドキュメンタリーでも追いきれない背景が伝わってきた。</p>
<p>30分の中にさまざまな情報が盛り込まれていた</p>
<p>あまりバックグラウンドがないからこそ色々な色々と考えられてよかったです。また様々な立場からこの映画の内容を考えられました。</p>
<p>あまり身近にはない内容だと思っていたが、感情や実態がリアルに描かれていて、予期せぬ妊娠や特別養子縁組について知ることができた。</p>
<p>いつの時代も若い年代の子の妊娠は、親からすると受け入れがたい問題かなとは思いますがそれ以上に命の大切さ、親となろうと思う妊婦さん本人の気持ちは本当にいつの時代も尊重されなければいけない問題だと思いました。</p>
<p>いろいろなことを考えさせられる映画でした。主演の2人の演技が素晴らしいので訴えかけるものができたと思います。これでいいのかという考えもあり、その後のそれぞれの人生は？と考えさせる素晴らしい映画でした。</p>
<p>いろいろ考えさせられました。みんなが幸せだと思える選択肢があればいいなと思ったし、そう願います。いろんな人に知ってほしい作品だと思いました。命や幸せのあり方を考えさせられました。</p>

きっかけがないと見ることのない映画だった。映画を見たことで、その後の話も理解しやすかった
こういう事がなかったので
こたえのない問題は人や場所によってとらえ方が違うので、とても難しいと感じました。字幕を付けられたら？先生の話がもっとあればよい
このはるかちゃんのような悩みは人に相談しにくく、一人で抱え込んでしまう問題だし、自分にも、自分の身の回りでも、絶対ないとは言いきれないので、こういった問題をテーマにした映画はおもしろいと思いました。
このような話は将来教師となった時に役に立つと思ったから。
この短い時間の中に大切なことが余裕をもって詰め込まれていることに感動です。様々な”間”の下限が絶妙なのでしょう。観終わって、この”スッキリ感”に自分でも驚いています。素晴らしい作品です。
この短い時間の中に大切なことが余裕をもって詰め込まれていることに感動です。様々な”間”の下限が絶妙なのでしょう。観終わって、この”スッキリ感”に自分でも驚いています。素晴らしい作品です。
さめじまさん役の方が……
じゅんこさんがはるかさんに病院をすすめたりするときに、はるかさん自身に決断をさせていたところが良かった。
シンプルな話でしたが、シンプルだからこそ、はるかの苦しみや子を思う気持ち、心情の移り変わりが伝わってきたように思います。
シンプルな話でしたが、シンプルだからこそ、はるかの苦しみや子を思う気持ち、心情の移り変わりが伝わってきたように思います。
それぞれの人物の話は詳しくかかれていなかったですが、大事なことや伝えたいことが伝わってきたような気がします。
それぞれの立場の思いが伝わってきました。
そんな方法があるんだととても勉強になったから
たんとんと進んでゆくリズムに、私の気持ちをそれぞれの立場にゆっくり乗せることができました。
テーマがシンプルでとてもリアルで心に入りやすかった
テーマがとてもよく表現されていた
テレビや実際に見ることのできない主人公の様子や学校の現場を見ることができた。もっと解決までの話し合いや主人公だけでなく周りの家族や相手の様子を知りたいと思った。

とてもよかった
とてもよかった
とてもよかった
とてもリアリティがあり30分で伝えたいことが自分にしっかり伝わりよかったです。ですが最後のほうは自分の読解力がないせいか意味が理解できませんでした。
とても詳しく描かれていて、よかった
ネガティブな妊娠からポジティブな妊娠へと考え方が変わっていくところが、暗い未来だけではないと教えてくれる
のぞまない妊娠、妊婦の気持ちをしり、この命を守るメッセージを伝えるにはとてもいい映画でした
バックグラウンドが語られていないので、その分登場人物の想いをいろいろ想像することができました。福祉や看護を学ぶ学生に鑑賞してもらって、当事者、支援者の思い・立場を考えてみてもらいたいと思いました。
ハッピーすぎる内容じゃなかったのがリアルでした。自分の周りにも起こりうることなので、選択肢があるということを知れました。
はるかが、お腹が大きくなるにつれて、そして葛藤を少しずつ乗り越えていくにつれて、子どもの幸せを考えられるようになっていったおが問題を抱えた中でも素敵だなと思ったからです。
はるかがじゅんこに出会えて本当に良かった。救いでした。間合いや余白が多くて、色々考えさせてくれた。周囲がどれだけ知識があるかで救える命がある。啓発が大切ですね。
はるかさんが最終的に産むと決断したから。映画の雰囲気がとても良かったから。
フィクションだがリアルな感じがあり、時間も30分ほどで観やすかった
フィクションであっても、妊娠してしまった生徒のリアルが描かれていて、いろいろな立場に気持ちに立って考えることができた。はるかちゃんのその後が気になった。
ふつうは見られない保護者の話合いのシーンがえがかれていた。
もしものことで、自分の事として考えた事がなかったので、あの場面になったら親としてどんな態度をとるだろうか
もし女の子の立場になった時、冷静に考えることが大切だということを知ったから。
よく30分でまとめているなと思いました。主人公の高校生の迫真の演技に心動かされました。男子学生のことや、高校の保険の先生は話合いに入らないのか、とか、図書室の先生の独断でクリニックにつなげたのかな？などがわからず、もの足りなさがありました。なので、ぜひ長編化を、と思います。0か月の虐待死、この数はもっと減らせると思いました。養子に出す決断をした主人公と、養子として育てられた司書さんとの最後の会話が良かったです。司書さんの”親”と主人公が重なるかんじでよかったです。

よくできていると思った（心理描写など）
リアリティがあった
リアリティを反映させながら色々考えさせられる映画であるため
リアルすぎて観ていて辛い部分もありましたが、リアルを観れるという貴重な経験を映画を通してできたから。
わかりやすく観やすい映画でした。
意図が明確で、考えさせられる映画だった。
一つの命の誕生の例を淡々と描いた映画だったと思う。このような命の誕生の仕方がある場合もあることを知ることが大切だと思う。
一人で悩んでいる遥さんを潤子さんや産婦人科の先生と一緒に考えて、支援して守っていく。おなかの中に育った子どもを守り、一番に生まれてくる子どもをどうしたら幸せになるのかを考えて方法を見つけていくのがよかった。
映画だけでは伝わらないことがあると思いました。今回のようにトークセッションやなんらかの補足をしておいていくといいです。ラポールの場合はよいのかな。
映画にすることで、自分の身に置き換えて考えやすかった。
映画に出てきた女の子みたいに望まない妊娠をしてしまって苦しんでる人はいっぱいいるし、それで生んですぐに殺してしまうのは最悪なケースです。そうならないためにも、この映画がもっと知らされればよいと感じました。
映画はたんと進むけど、それぞれの背景が描かれていないため、考えながら観ることができる。短編より長編のほうが見たいと思った。
映画をみて女性がひとりで辛い思いをしていて、周りにそのような人が居ればどのような言葉をかけるといいかや解決のアドバイスなどもできるようなこの「いのちをつなぐ」を心にとめ生活していきたいです。
映画内でおこったことのひとつ一つの背景を考えさせられる内容だった
映像がきれいでした。重い話でも、前向きになれる映画でした。
家族のあり方、いろいろな価値観があることを感じた。はっきりした答えがなく考えさせるラストになってるのが良かったです。
家族の在り方、いろいろな価値観があることを感じた。はっきりとした答えがなく、考えさせるラストになっているのが良かったです。
家族の在り方、いろいろな価値観があることを感じた。はっきりとした答えがなく、考えさせるラストになっているのが良かったです。

<p>会議室のシーンで、誰もが余裕を失ってしまっていて、当事者の高校生2人の話をきこうとしなくなってしまうのが、みているだけで、つらく、迫力があつた。</p>
<p>解説などはないけれど、当事者の気持ちを読み取り、色々なことを考えられる映画だったから。</p>
<p>海亀という表現は言い得て妙だと思いました。親も子も不幸にならないために必要な制度だと。自分があんなに泣くとは…。</p>
<p>各当事者の葛藤が迫力があつて引き込まれました。</p>
<p>学校保健とつながれば、墜落分娩などを予防する事にもなると実感しました。周知していくこと、今いる場所でやっていければと思いました</p>
<p>学生で妊娠してしまった女の子の不安でいっぱいな感じが伝わってきたし、最初は自殺しようとしてたけど最後には笑顔が見られたから。</p>
<p>学生を助けてくれたのは、自分（じゅんこさん）も難しい状況で育てていたから？アンテナがはっていたのかな？じゅんこさんも学生の子を見守って、自分のことと重ね合わせて親の思いを感じられたのかな。二人ともいい出会いだった。</p>
<p>感じたこと：図書館の女子職員のつぶやきでその子を生んだ親がその子の幸福を願っているか？</p>
<p>歓迎されない命があるのは辛いものです生まれてくる命、すべての子供達に幸せになってほしいと思いました。生まれてからどのような家庭を経て特別養子縁組するのか知りたいと思いました。</p>
<p>共感しながら対話する相手がいることの大切さと必要を考えた。どこで会えるのか…その現実はなかなか難しい。ゆえに、父親と相手家族の無理解からの発展をも（その逆も）描かれてよいと思った。答は各自で考えてつかんでいく…という作品として良いと思いました。</p>
<p>教育の中で、家庭の中で、性についてもっと考えるべきだと思ってきたが、社会全体の理解がなければ子どもを産み育てるということについて生きにくい世の中なのだと映画を観て感じました。</p>
<p>具体的な養子縁組についての説明があればもっとわかりやすく伝わりやすかつたのではないかと思った。</p>
<p>結局、産んだのかどうかまで知りたかつたが、良かつた。</p>
<p>結論は観る人にゆだねる感じ、それがいいなと</p>
<p>見ようによって色々な解釈のしようがあつて、考えることを求められる</p>
<p>現実のリアルな問題がとてもよくわかる内容でした。</p>
<p>現実味がある内容で子どもを身ごもってしまった生徒の葛藤する姿が見られたことがよかつた。</p>
<p>現代の社会状況の中では、このような女性は本当に苦しんでいると思う。ともに幸せになるために積極的に広めたい映画だと思いました。</p>

<p>限られた30分でいろいろな立場のそれぞれの気持ちが描かれていたので。</p>
<p>考えさせられた。とてもリアルで、自分だったらどうするかたくさん考えた。考えもできたことがなかった選択肢を少し理解できた。</p>
<p>考えさせられました。主人公の表情が前半と後半で対照的だったのが印象的でした。潤子のように本当の意味で寄り添い聞いてくれる人がいれば救われる子が多くいるんだろうと思いました。</p>
<p>考えさせられる内容でした。</p>
<p>高校生で産むことの難しさ、葛藤を学ぶことができた。養子縁組についてよく知れてよかった、もっと知ってほしい。赤ちゃんが亡くなるというのを減らせればいいのにと考えた。</p>
<p>高校生で妊娠をしてしまった子は、おろすか育てるかしか選択肢がなく、中絶することができなくなって、金銭的にも精神的にも社会的にも育てられない子はいると思います。母子ともに幸せになる方法があることがもっと苦しんでる子に届けばいいなと思いました。</p>
<p>高校生の葛藤が良く伝わってきた映画で心動かされた、特別養子縁組に限られない内容で興味深かった。私は将来児相のケースワーカーになる。その中で若いお母さんも多いと聞く。でもその方々はあれだけの葛藤と勇気の中でこの子を産んだのだなという観点を忘れたくないなと思った。</p>
<p>高校生の望まない妊娠による辛さを感じ取ることができた。産むかおろすかではなく生んで養子に出す考え（選択肢）があることで同じような状況にある女性を助ける1つの手段だと思った。</p>
<p>今の取り組んでいる業務が、人財育成、研修などなので大変興味深く拝見させていただきました。上映前後にワークを入れることで、色々な対象者を想定した勉強会ができると思いました。日々現場にいますが辛い思いを抱えている多くの方々に「互いが幸せになるために」という前向きなメッセージが伝わればいいなと思います。</p>
<p>最後、じゅんこのセリフで「私を産んだ人は私の幸せを願ってくれているのかな」望まない妊娠でも願えば産んでいいってわけではない。責任に基づいた映画が見たい。</p>
<p>最後どうなったのか気になりました。長編も観たいです！</p>
<p>最後にはじはたさんのおっしゃったとおり、この映画を通じていろんな方が話し合いの場を持てるといいな</p>
<p>最後に産んで養子に出すときはるかのシーンも見たかった。</p>
<p>細やかな心の動きを丁寧に描かれていてわかりやすかったと思います。どうしたらよいか、場面場面で立ち止まって考えることができました。</p>
<p>産ませると言うことが幸か不幸か、人によることを考えさせられた。また、相対的な視点によるものから、女性だけの責任であるかのように思いがちになってしまうそんな現実を知ることができ、社会の在り方は変わるべきだと考えることができたため。</p>
<p>産むと言う決断は一人ではできないものなので、誰か支えてくれる人がいることが大切だと感じた。そして支えられた人が他の人を支えることができれば輪が広がると感じた</p>
<p>産む前めっちゃこんな感じだった……。共感。</p>
<p>仕事で関わったケースと重なるところがあり、現状避けられないと改めて実感できた。</p>

<p>仕事中寄り添いきれない、なかなか見えない若年妊婦の心の動き、周囲の無神経さなど表現されててよかったです。</p>
<p>子を産めなくて困っている人、養子縁組で救われた人など様々な立場の人の意見があり、命の大切さや養子縁組などについて考えることができた。</p>
<p>支援の方法をつたえる大切さを知ることができた。</p>
<p>私の近隣でも高校生が夏休みに妊娠をして、子どもを生んだケースがあります。この過程はしっかりしていたので、家族全体ですくすく育てているお子さんがいることを思い出しました。</p>
<p>私は特別養子縁組の当事者（養親）ですが、いろいろ考えさせられました。最近特別養子縁組についてメディア等で取り上げられる事が増えましたが、まだまだ理解は進んでいないと思います。この映画をもっと多くの方に見てもらって理解が進んでいく事を望みます。</p>
<p>視聴者として色々考えさせられる内容、上映時間だった。</p>
<p>自分ならどうするだろう…と考えることができたから。</p>
<p>自分には関係ない話ではなく、とても考えさせられるものだった</p>
<p>自分の周りにいたらと考えられたから。</p>
<p>自分の出自を言えずに育つ方々に光を当てるきっかけになるよい作品でした</p>
<p>自分の身に起こったことがないため、具体的に考えたことがなかったが、この映画を視聴して、疑似体験ができたからです。</p>
<p>自分の知らないことを知ることができた。</p>
<p>実際によくおこっていること、だけどあまり正しくは社会に伝わっていないことがよく伝わる映画だなと思いました。自分ごととして”考えるきっかけ”になると思います。続きが気になる映画でした。</p>
<p>実際に起きている問題がリアルに描かれているなと思った</p>
<p>実際に自分がこういう時にどうすればいいかよくわかった</p>
<p>社会に伝える方法として映画はとてもよいと思いました。</p>
<p>社会の中で、このような葛藤がおきていることを、あらゆる立場の人に知ってほしい。もう少し命や人にやさしい社会になるためには、まず知って感じて話すことかなと思います。</p>
<p>社会の中で、なかなか話題にすることができないテーマであり、難しい問題であると思いますが、色々なことを考えるきっかけになると思ったからです。</p>

若い人が子どもを産み育てることに對してよいと思っていなく中絶や虐待につながるのを養子に出すことを知ることでそれを抑えることができるのではないかと思います。
若い人の妊娠や里親についてなどの知らない様子を見ることができた。
若年層による妊娠や出産への気持ちがリアルに描かれていたと思います。特別養子縁組へ子どもを授けることを決意したことはまさしくいのちのバトンをつなげていると思いました。
若年妊娠の辛さ、悲しさがすごく伝わってきました。いろいろな方に見てほしいです。若い方以外の養子制度活用例を知ってみたいと思いました。
主人公が苦しみすぎないのがよかった
主人公と潤子さんとの交流の中で主人公が少しずつ潤子さんの生まれてきた過程が理解されてきた事。
主人公の思いの変化が印象的でした。また、周りに誰も助けてくれる人がいない状況がとても衝撃的でした。
主人公の女の子が最後子どもをかわいいと思えてよかった。潤子さんが良い人だなと思いました。
主人公の表情がとてもよく、胸にせまるものがありました。
女の子がかわいかった。時々見る場面だけど、学校での話し合いを見られるのは新鮮だった
女の子が一人で悩んでいる現状がよく描かれていたと思います。司書さんのように理解してくれる受けとめてくれる頼れず大人がそばにいることがとても大事だと思いました。又、正しい知識を知る機会が必要だと思いました。妊娠、制度全てにおいて。特別養子縁組が普通に受けとめられる社会になることを切に望みます。
女の子が赤ちゃんのことをちゃんと理解して赤ちゃんの幸せを願ったり、ありかたは違うけど母としての覚悟ができていてそれが伝わってきてよかったです。女の子の気持ちや成長がわかりやすくまとめられていて、映画の長さもちょうどよかったです。男の子の気持ちももっと知りたいと思ったのと、実際に養子に出す流れも知りたいなあと思いました。
女の子のかっとうの様子だけでなく、男の子の気持ちも知れたら嬉しかったけれど、実際やっぱり男の子側よりも女の子側としての問題になることが多いのだろうと思った。
女の子の辛い気持ちがとても伝わったから。誰か1人でも自分の話を聞いて寄り添ってくれる人がいると、すごく救われるなあと感じたから。
女子高生役の女の子の演技が、妊娠を経験してないとは思えないくらい自然で胸を打たれました。
女性の気持ちが有効に発見できた
少女の悩み苦しみが良く伝わってきました。また寄り添って助けておられた女性の姿に感動しました。
状況にリアリティがあり、役の演技から心情がしっかりと伝わってきた。時間軸や状況が一目で理解できて、とても分かりやすかった。伝えたい事、考えて欲しいことが、セリフ、演技から響いてきて、とても面白かった。

<p>色々考えさせられたから。心に残る言葉やはるかの様子がリアルだった</p>
<p>色々考えさせられるきっかけとなったから。</p>
<p>色々考えさせられる内容であった</p>
<p>新しい命が生まれることに何も悪いことなんてない、というセリフがたくさんの人に届くといいなと思った。</p>
<p>新しい命をつなぐことができた。</p>
<p>深い</p>
<p>身近でリアルに起こりそうな話を再現されていたから。</p>
<p>身近にこのような事が全くなく常に第三者的立場で思うところではありませんが、第三者として養子・シングルマザーなどの偏見のない社会になって行くように努力していきたいと思いました。</p>
<p>身近にその状況にある友人がいて、中絶のことを考えることがあったので、その女の子もこのような気持ちだったのか・・・？と学ぶことができました。女の子だけでなく、男女問わずみんなが考えていくことだと思いました。</p>
<p>人物や家族の背景が細かく設定しないのがよかった。それは特別養子縁組とか10代の中絶とか学校の対応とか、様々観る人によって関心を持つ角度が違おうし、その方がいろいろ利用できると思った。命を大切に、その命を「社会で育てる」という考え方をもっともっとアピールする大切さを感じた。</p>
<p>制度についてよくわかった</p>
<p>制度についてよくわかった。</p>
<p>生命の大切さを伝える啓蒙になっている。</p>
<p>生命や生命を育むことについて指導的でなく物語の状況の中で自然に観る人が観る人の感性で自由に感じるすることができるのではないかなと思ったからです。色々な状況にある人がこの物語を観て、自分なりに救われる部分がある映画だと思います。</p>
<p>絶望的なopeningから司書さんと出会い最後、彼女自身が「この子のために養子に出したい」と言えたこと。彼女の成長がすばらしいと思いました。</p>
<p>先生の言っていた通り、内容が浅く感じた。本人や、父親等の周りの人の様子もあった方がリアリティを感じられると思った</p>
<p>先生もお話されていましたが、短編なので登場人物のバックグラウンドや、制度の詳しい説明がなかったので長編に期待します。学生でも妊娠、出産し、育児と学業を両立できたり、シングルマザーでもお金の心配なく育児できる制度が整っている必要があると思います。どうしても育てられない場合、養子縁組や里親制度があることをおっと国民が認知できるよう国は広めていく必要があると思う。それが子どもの命をつなげていくことになると思う。長編では、日本の子どもに対する制度の不備など問題提起する内容も入れて欲しいと思いました。他国と比べて描くのも面白いと思う。</p>

<p>前の職場で13歳14歳でママになった子たちに出会ったり、今の職場でも中高生の妊娠、性感染症等であることもあるが、その知識を伝えてない大人の責任と感じます。私なりに伝えていきつつ、子どもたち、女性の側（がわ）にたてる人でありたいと改めて思いました。</p>
<p>全部良かったです。</p>
<p>素敵な映画でした。広まってほしいです。</p>
<p>想像していた内奥と違ったため</p>
<p>相手の家族がどうなったのか気になります</p>
<p>相手の親や彼氏の対応は見るに耐えないものであり、妊娠させたという自覚もなく、責任も見られなかった。こういう人たちがいる為、一人で抱え込む人がいると考えられる。</p>
<p>相手側の親が典型的な悪役タイプなのがよかった（そのほうがわかりやすいので）全体通して映像だけ明るいのが印象的</p>
<p>息子が思春期に入り、考えておく必要のあるテーマだなと思い観に来ました。自分の中でこうしようと思えるものができたことが良かったです。</p>
<p>誰の立場で観るかで違うかと思いますが、悩む中にも誰かがいてくれて助けてくれて、そして自分が助けられる人になれるといいなと感じられる映画と思ったので。</p>
<p>単純なハッピーエンドではなく、養子縁組を選択し、葛藤の中で出産を迎える遥の姿がとても印象的でした。</p>
<p>短いから、もっとみたかった。あと、。最後どうなるのか切り方が気になった。望まない妊娠して、すぐおろせて考えはあるけど、生んで違う未来があるということがよくわかった。</p>
<p>短い映画だったが、高校生の出産について考えさせられる映画だった。「いのち」をどう考えていくのか：主人公の気持ちの変化で改めて、出産やいのちの大切さがわかった。</p>
<p>短い時間で、視点をいろいろな所にぶらさず、しぼられていた分考える余地があって良かった</p>
<p>短くまとめられており、集中してみられると思う。みる人がそれぞれの立場で思うこと、感じるものが（想像とか）しやすいと思う。</p>
<p>短時間にメッセージが込められていました</p>
<p>短編で描き切れないかもしれませんが、当事者周囲がとても心に迫るものがあり、変化も見えたかったです。</p>
<p>短編映画とは思えない内容とクオリティだった。見入ってしまった。</p>
<p>短編映画をあまり見たことがなかったのですが、短いながらも分かりやすい映画でした。</p>

<p>男の子側の目線や、はるかと産まれた赤ちゃんのその後が気になりました。</p>
<p>男子学生の葛藤の描写も（してたかどうかわからないけど）もう少しあればなおよかった</p>
<p>男性と女性の妊娠出産育児において責任や負担の不均衡を改めて感じさせられる内容だった</p>
<p>池田さん。じゅんこさんの背景を掘り下げた長編が見たいです。</p>
<p>中絶のことで悩んでいる人は多いと思うので、その人たちの後押しができるのではないかと思った。</p>
<p>途中からしか見ていないので、また見たいです</p>
<p>当事者、周りの人の対応について考える機会になった</p>
<p>当事者にならないと苦悩、葛藤というのはわからないが映画にすることで少しでもその社会問題を身近に感じることができ、考えるきっかけになると感じた。</p>
<p>当事者の気持ち（養護に出す側、出された側）のことをしっかり映し出せていた。</p>
<p>当事者の立場から描かれていて、感情なども分かりやすかった。性教育の必要性を感じた。</p>
<p>同じ悩みを抱えた子や同じ経験をしている子もいると思うし、どうゆう判断が必要なのか観てわかる映画だったから。</p>
<p>特に、両親や生徒が学校に集まって話し合う場面が印象に残りました。</p>
<p>特別養子縁組については勉強をし、知識は知っていたが、その現状については知らなかったなので、映画で見れて分かりやすかったし、考えるものがあったから。</p>
<p>特別養子縁組について昔から知っていたのですが、改めてより知ることのできた内容でした。ハッピーゆりかごプロジェクトは良く知っています。</p>
<p>特別養子縁組のことを知るのにとっても良い映画だと思いました。ぜひ多くの人に見てもらいたい内容でした。</p>
<p>特別養子縁組のシステムなど、知らなかったことが知れることはよかったです、相手の男の子や親の関係などが気になり、もやもやしました。</p>
<p>内容が覚えやすかったのと、けっこういい話だった。のと、内容が結構入り組んでた</p>
<p>内容が頭に入りやすかった</p>

<p>難しい話題をわかりやすくとりあげている</p>
<p>日頃福祉関係の仕事をしているので、話の内容については納得しながら見ることができました。1つ1つのセリフがとても厳選され印象的でわかりやすかったのではないかと思います、たくさんの人に知ってもらうことが大切だと思います。</p>
<p>日本の実情や真実を知ることができてよかったです。一部の人だけでなく、日本の課題として向き合う必要があると思わされました。</p>
<p>妊娠・出産・育児のコト 一連の流れと知っている人が多いので、そうではないということがわかったコト</p>
<p>妊娠した経緯はわかりましたが出産後が気になります。最終的院はるかがどういう決断をしたのか気になります。</p>
<p>妊娠した時の心の葛藤、子どもがお腹の中で育っていくにつれ、母親の（自分のことだけでなく、子どものことも考えられるようになった）気持ちの変化やじゅんことの出会いによって子どもにとって、自分にとって一番良い形を選択できるまでがよく描かれていたと思いました。</p>
<p>妊娠した女の子の心を追いつめ、生まれようとしている命を殺そうとしてい r のは、愚かな世の中なのだと思ったからです。</p>
<p>妊娠した当事者の背景や生育歴を知り、添い、支え、共に考えるスタンスは大事だと思った。抱える葛藤に耳を傾け、一緒に整えていくことを大切にしたいと感じた。</p>
<p>妊娠している若い女の子の心理をちゃんと表した。特別養子縁組もちゃんと紹介した。</p>
<p>妊娠している当事者が置かれてる環境も踏まえて、寄り添うことができる人がもっと増えて欲しいと感じました。命の重さ、尊さを子どもの頃から考え、語り合える日本社会を目指していきたいと思います。</p>
<p>妊娠してしまった女子高生のどうしようもなさや、周囲の対応や目線などが生々しく描かれていてよかった。30分だと物足りない部分が多く、もっと掘り下げてほしい部分があったので長編で観てみたいという気持があった。</p>
<p>妊娠について考えさせられた。</p>
<p>妊娠の結果が自分で育てるか堕胎するかだけでなく、特別養子縁組のこと・第三の選択をわかりやすくしてよかったと思う</p>
<p>妊娠までの過程や関係がわからなかったもので、もう少し詳しく知りたいと思ったのですが、観る側の想像をかきたてるためのもの？と考えもしりました。前後がもっと知りたいと思いました。</p>
<p>妊娠をした未婚、若年女性の状況を知ることができた。男性への周知も必要であると思った。</p>
<p>妊娠をしてしまった時に妊娠した人とその子どもを助けてくれるところがあるということのをあらためて知れました。</p>
<p>妊娠をのぞんでいなかったとしても、どうにか子も親も幸せになれるかもしれない方法があるということを知るヒントになり得ると思ったから。</p>
<p>漠然としたイメージだけでなく、細やかな感情の変化や、つらさがわかったから。「誰も話を聞いてくれない」といったセリフが印象的だった。</p>

<p>非常にリアリティあふれる表現で、短編が故の想像をかきたてられた作品でした。</p>
<p>普段はあまり考えない中絶や養子縁組制度について知ることができたので良かったです。「生まれてくる命に罪はない」というのが心に残りました。</p>
<p>父親や学校は女の子の話を聴かないが、司書の方が話を聞いてくれたから、女の子はまだ恵まれているのかなと思ったから。</p>
<p>物語だからこそ知れる、受け取れる、想像できる余地があった。俳優さんたちの演技が素晴らしかった。</p>
<p>分かりやすい内容だった</p>
<p>分かり易いと思った</p>
<p>聞き取れないところが結構あって、完全に内容を理解できなかった。字幕等があったらよかった。可能ならまた完全に理解できるまで見てみたい素晴らしい作品だと思った。「その後」どんなふうになったのか続編も作って欲しい。</p>
<p>望まない妊娠について深く考えなおすことができたから。</p>
<p>望まない妊娠をしたとき、出産した後の選択肢として特別養子縁組があること、妊婦さんへの支援、方法を知ることができたこと。若年者が妊娠したらどうなるのか、リアルに迫ってきていろいろ考えさせられました。</p>
<p>望まない妊娠をしてしまったはるかの反応や周りの反応がリアルで、話だけでは分からない感情の起伏がわかってよかった。</p>
<p>望まない妊娠をしてしまった時、その家族はまず産む本人の今後のことを最優先してしまいましたが、生まれてくる命が一番大切にされるべきものなのだと改めて気付かされました。家族の絆は血のつながりではなく、一緒に過ごした時間が作るものだと思います。この制度が少しでも多くの人に知られるといいと思いました。</p>
<p>望まない妊娠をしてしまった少女、それを助けた図書司書の先生の気持ちががいねいに描かれていていろいろ考える余地がたくさんありました。</p>
<p>望まない妊娠をしてしまった当事者がどのような思いでいるのかを知るきっかけになりました</p>
<p>望まぬにんしんに対するSOSそして受け止める</p>
<p>望まぬ妊娠や様々な家族の背景で生きづらさや息づらい人達が増え、そのことは決して他人事ではない。自身や社会の問題であり、“こころとからだと人権”の学び（性教育・人生教育・生と性の学び）であり、その一部を切り取る映画であった。</p>
<p>本人の辛さや、話を聞いてくれる人、相談できる人がいれば変わることができるということが見ていて伝わった。</p>
<p>本人抜きで、親たちが争うシーンをよく描いていると思う。子どもの声を大事にしていけない現状そのものですね</p>
<p>本当によく起こるようなストーリーだったから</p>

<p>本当に同じような状況になっている人が見たらこういう選択肢があるのを知られてよいと思った。</p>
<p>未成年で妊娠してしまった女の子の不安や心配な様子が描かれていたから。</p>
<p>未成年の妊娠の悩みや家族、関わっている人の気持ちがわかった。</p>
<p>命の大切さがよく分かった</p>
<p>命の大切さがわかった</p>
<p>命の大切さを知ることができる。自分の仕事上で何人かのケースに関わったことがあります。</p>
<p>命をつなぐの意味がよくわかりました。生まれてくる子には罪はありませんし、妊娠した女子生徒も、命を育むことの大切さを学んだと感じました。命を大切にする立場の産婦人科医の登場が印象に残りました。</p>
<p>命をつなぐ働きを知る事ができたこと</p>
<p>命を迎えることに前向きな社会になるように、高校生（いや中学生？）くらいから学校でも見せてほしいと思いました。1つ、相手である男性の意見が何一つ出てこない事に多少苛立ちすら感じましたがすべて女性が背負っているという意味ではとてもリアルなのかもしれませんね。</p>
<p>問題の答えを投げかける形で終わっており、その時代の流れで別の答えが出てくるのかなと思った</p>
<p>様々な視点（立場）が描かれていてしかも答を押し付けている感がなく、色々と考えさせられたから。</p>
<p>様々な視点で考えさせるきっかけがあったので</p>
<p>様々な人の気持ちが描かれていた</p>
<p>遥が、普通な感じの女の子だったので、観た人は望まない妊娠をより身近なこととして考えられると思いました。ぜひ長編映画にして、背景などをもっと見せてほしいです。</p>
<p>養子に至る以前の現状も、よくイメージできました。</p>
<p>養子に出さざるを得ない方の話やストーリーをこのようにして見る機会は少ないので見に来させていただきました。難しいと思いますが養子に出した後の生みの親の思いの変化も知りたいと思いました。</p>
<p>養子のことはあまり知らなかったなので、知れてよかった。女性にとっては誰でも知っていれば少し気楽になるなと思いました。</p>
<p>養子のことはあまり知らなかったなので、知れてよかった。女性にとっては誰にとっても知っていれば少し気楽になるなと思った</p>

<p>養子や望まない妊娠について考えさせられるから。</p>
<p>養子縁組について考えることができて良かったなと思ったから。もう少し詳しいことも知りたかったなという気持ちだった。あと映画自体の音量が小さくききとりにくかった。</p>
<p>養子縁組に出す人、出された人の心情だとかかっとうだとかをリアルに見ることができたから。</p>
<p>養子縁組当事者からの視点です。我が子、我が子の生母さんの当時の想像で描き切っていない部分を補完しながら観ていました。ぜひ長編でもみてみたい気持ちと、あまり詳細に描くとリアリティがなくなってしまうのかなという不安と半々です。まだ若い和光の学生さんたちにも響いて何かにつながっていくことを期待しています。</p>
<p>養親の立場として、生みの母の気持ちや、辛さについて、再度思いをめぐらすことができました。</p>
<p>頼る、頼れる人は必ずしも親でなければならない、ってことはないんだなと思った。この映画では図書館の司書さんが色々なことを知ってサポートできたけど、それを知ってる人はどれくらいいるんだろうと思いました。</p>
<p>落ち着いたトーンで描いていて、作品の世界にずっと入ることができました。「男性の無責任」「置き去り感」監督の問題意識もよく伝わってきました。</p>
<p>里親のことを初めて知ることができたため。今子どもの数が減っている中で、産む選択肢が増えることで、いいと思う。暁役の子の演技が上手だった。</p>
<p>里親のことを色々な人に知ってもらう為に、映画という方法はとても良いと思った。長編として、全国規模で上映できればもっと広まると思う。30分の中で、とてもよく詰まっていたと思った。</p>
<p>里親制度の手続きや産まれた後の手続き等、さらに詳細なことも知りたいと思った</p>
<p>良い意味であっというまだった</p>
<p>話をきくだけでは分からない、リアルな様子を見れたから。</p>